



広域広報

No. 8

平成5年(1993年)

おきたま

4/15



さあ春です。

今年はどうな花に

出会えるかな？

特集 花のまちづくり

みんなで創ろう

花の里 おきたま

本圏域は、平成元年に自治省から「ふるさと市町村圏」の指定を受けました。これに伴い「花咲き人成るいきいき置賜」をキ

ャッチフレーズとする「置賜広域ふるさと市町村圏計画」及び「広域活動計画」を策定しました。この計画のうち、広域活動

計画は、山形県と置賜三市五町が共同で十億円を出し合い、これを基金として積み立て、ここから生ずる果実（利子）で花と人材育成に関するソフト事業を実施するものです。

この広域活動計画の中で、花と人材育成事業を「花の北斗七星事業」として、平成二年度から置賜の各市町においていろいろな事業を展開しています。

広域活動計画は、発芽期（平成二～四年度）、開花期（平成五～九年度）、結実期（平成十～十二年度）の三期に分かれています。発芽期では主に住民のみ

なさんの花に対する意識の盛り上げを推進するため、花づくりの講習会や講演会の開催、花いっぱい運動の盛んな地域への助

成金の交付や花いっぱい運動が盛んな地域の代表の方々の花の先進地への派遣などを実施しました。この結果、置賜地域の花いっぱい運動はべにばな国体の開催も重なり、現在では置賜の

各市町で地域ぐるみでの花や木の植栽が盛んになり花いっぱい

の輪が広がりました。平成五年度からは開花期に入るわけですが、この期間は置賜各地にこれ

までまいてきたいろいろな「たね」が発芽し始めてきたので、それをさらに育て、花を咲かせ

る期間です。事業としては花に関するイベントの開催や花の先進地との交流、さらには100km花の回廊整備事業の推進などの事業を展開します。

置賜花の北斗七星事業

- 1 花の回廊整備事業
- 2 花の情報発進基地づくり事業
- 3 置賜花づくり事業
- 4 置賜サイン計画
- 5 フラワー都市圏交流事業
- 6 置賜フラワーフェスティバルの開催
- 7 地域や産業を支える人材育成事業

「一ク事業」として自治省のまちづくり総合事業の採択を受けました。



高島町緑の日記念植樹の様子（花の回廊助成金交付事業）

花の回廊整備事業つてなあに？

この広域活動計画の「花の北斗七星事業」の七つの事業の一つとして、置賜を「花の里」として創出することを目的に実施するのが花の回廊整備事業です。

これまでも広域事業として花に係る各市町の公園など拠点施設の整備、各施設のネットワーク化など置賜圏域全体の効果を高めることを目的として整備を行ってきましたが、「置賜花の回廊整備事業」では、これらの事業をさらに拡大して事業を展開していくものです。

そこで、本組合では平成二年度に花の回廊整備に係る「基本構想」を、平成三年度には「基本計画」をそれぞれ策定し、置賜100km花回廊・花の山里回廊並びに最上川花と緑の水回廊を設定しました。

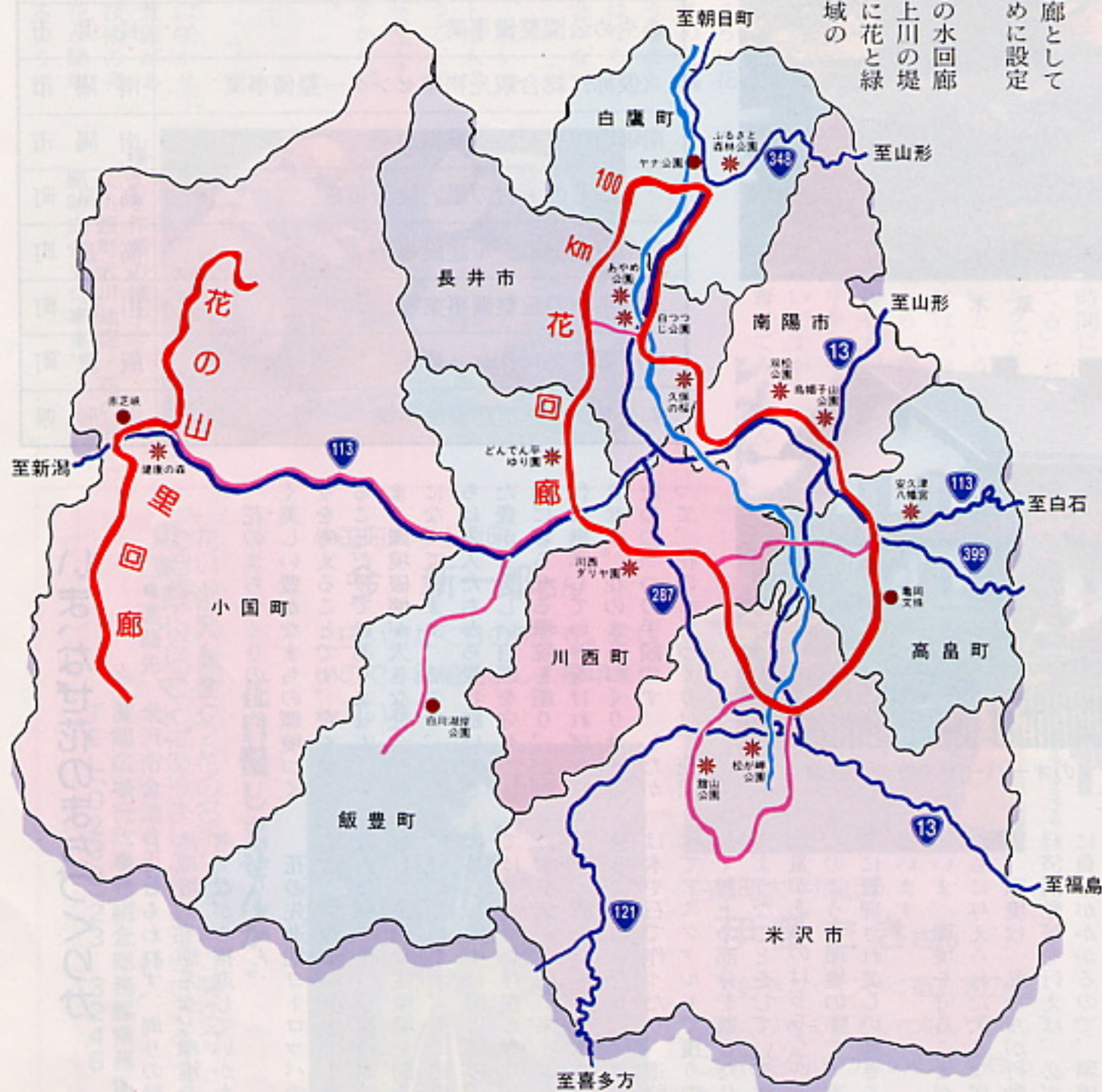
置賜100km花回廊・花の山里回廊は、県道・市町道を中心に設定し、このルートを巡ることにより置賜の主な観光地と花の名所を見ることが出来ます。このルートはこれまでも地域の方々が沿道の所々に草花を植栽しており、これをさらに整備するこ

とで置賜全体の花の回廊としてのイメージを高めるために設定しました。

また、最上川花と緑の水回廊は、置賜を貫流する最上川の堤防や川の沿線等の所々に花と緑の植栽を行い、川を地域の人々の野外レクリエーションや親水空間の場として活用できるように考えて設定しました。

置賜花の回廊ルート

- 花の回廊メインルート
- 花の回廊サブルート
- 最上川花と緑の水回廊
- * 主な花の名所
- 主な観光資源
- 一般国道



まちづくりの総合事業ってなあに？

本圏域が持つ美しく豊かな自然を最大限に活用するとともに圏域に住む心豊かな人々が織りなす花の文化を生かして、「花」をテーマにした事業を行うものです。

整備に当たっては、本圏域の特性であるはつきりした四季の移り変わりを活用して、春から秋にかけてそれぞれ花が楽しめるように整備するとともに、自然に自生する花から古代の花、さらには世界の花等が楽しめるように、それぞれに機能を分担してネットワーク化を図り相乗的効果を高めていきます。

また、置賜地方にしかない「草木塔」など、圏域特有の花の文化や、古来からの花の文化など多角的に花の情報を全国各地や世界に発信するための事業も展開していきます。

置賜花の文化交流ネットワーク事業一覧

事業名	実施主体
(仮称) 置賜コンベンションホール建設事業	置賜広域行政事務組合
(仮称) 置賜広域観光案内センター建設事業	米沢市
あやめ公園整備事業	長井市
(仮称) 総合観光物産センター整備事業	南陽市
南陽市中央花公園整備事業	南陽市
「まほろば・古の里」建設事業	高畠町
高畠町文化ホール建設事業	高畠町
ふれあいの丘整備事業	川西町
白川郷リフレッシュ事業	飯豊町
ネットワーク道路整備事業	山形県



草木塔



ドイツのオーバーアマガウの民家

いま、なぜ花のまちづくりか

環境をトータルで考えましょう

花のまちづくりの目的は美しく美しい豊かなまちの環境づくりを考えることです。花を植えることだけではありません。いま、環境破壊が大きな社会問題になっていきます。そこで、私たちは先人たちから受け継いできた豊かで美しい自然を守り、快適に暮らせる環境を創り、次世代に継承していかなければなりません。花のまちづくりはそのための一つの手段です。したがって、花のまちづくりは、花だ

けにとらわれず、周りの緑や自然環境、生態系など環境全体を考えながら推進していかねばなりません。

花の先進地ヨーロッパの各国では、つねに環境をトータルで考えながら花いっぱい運動をとおして快適な住環境を創ることに努めています。その結果、花は暮らしの中に溶け込み、なくてはならない存在となり、さらに木を植えて鳥が来るようにしたり、池をつくって水性動物が来るようにしたり、プランターは木や石で作ったり、道路はすべてアスファルトで覆うのではなく、土の部分を残したりというようなことをしています。花は量があるのはもちろんですが、このような環境の中で、実に見事に管理され美しい輝きを放っています。

いま、環境を守ることが、私たちに与えられた大きな宿題です。環境は、私たちが行動し、経済活動等を行えば、必ず環境に負担がかかるので、環境への負担の小さい暮らしやまちにしていかなければなりません。環境とは、極端に言えば、自分を



飯豊町椿地内(花の回廊助成金交付事業)

除くすべてのことが環境なので、逆に言えば、他人から見れば自分自身が環境なのです。自分の行動、暮らし方、行為はすべて環境なのです。このようなことを考えるときと環境に対してやさしくなれると思います。この自然豊かな美しい置賜を次世代に残すために、また、美しさを共有し、自分たちの住んでいる地域に誇りが持てるように、花のまちづくりをおして美しい地域を創っていきましよう。

良い意味での競争意識を持つ

花いっぱい運動には、良い意味での競争意識が必要です。良いことは決して他人に教えないというのが競争の原理ですが、

花いっぱい運動を成功させるには、この競争の原理に反して、良いことを他人に教えて、そしてみんながさらに良いことを考へて実行することが必要です。しかし、花いっぱい運動を繰り返して行く中では、コストがかかりすぎたり、特定の人に負担がかかったり問題はいろいろありますが、実際に花の中で生活している人は朝から晩まで花の中に埋もれていても絶対にあきないのです。花の存在の意義がわかるというところ、この意義がわかるというところが、この意義がわからないとどのようなことをしても花いっぱいにはならないし、また、最初に理念がないと長続きはしません。このようなことから、花いっぱい運動のキーポイントは人です。「これだ!」と思って、どれだけ本気になれるかなのです。どんなことでもいいですから、まず始めてみましょう。

たねから育ててみましょう

花は育てるものです。咲かせるまでの経過に大きな意義があるのです。近頃は栽培技術の発達に伴い、ほとんどの花が簡単に購入することができるようになり

ました。種をまいて育てるより買った方が早いということですが、もう少し時間にゆとりを持って「花を育てる」ということを試してみようでしょうか。たしかに「買う」という行為は花の需要の伸びにはつながりません。しかし、種から「育てる」ことで、花への接し方、考え方が変わってくるかもしれません。どんな花でもいいですから一粒のたねから花を育ててみましょうか。



種まき作業の様子
(川西町大川地区・花の回廊助成金交付事業)

花自慢



白鷹町大字荒砥甲
伊藤たきさん

大好きなくじゃく草。家の周りにはくじゃく草でいっぱいです。この花を町いっばいに咲かせるのが夢です。

小国町大字小坂町
今 新一郎さん

白いかたくりの花です。珍しいので、鉢植えにして毎年楽しんでます。



花自慢しませんか

花いっぱい運動や、花の名所など、花に関すること

●連絡先

米沢市金池3丁目1-55

置賜広域行政事務組合総務課業務係

TEL(02338)23-3246

平成五年度の予算

一般会計の総予算額は

三十四億一千二百四十万四千円

本組合の平成五年度各会計予算が三月の定例議会で可決されました。

一般会計の予算総額は三十四億一千二百四十万四千円となり前年度に比べ九億九千三百二十万三千円、率にして二十二・五割減少しています。

減少になった主な要因は、千代田清掃事業所浅川最終処分場の建設工事が終了したためです。この浅川最終処分場の工事費を除いた予算の比較では、三・九割の増加になりました。

歳出のうち主なものは、ごみ・し尿の処理経費の衛生費が、十七億一千八百四十一万一千円（五十・四割）、コンピュータ利用による行政事務の共同処理を行う電算共同処理事業費が七億一千五百六十六万六千円（二十一割）、南陽養護老人ホームの管理運営費である民生費が二億九千八百四十八万八千円（八・八割）、施設等を建設する際に借入れをした借入金償還金である公債費が五億三千四百一十七万七千円（十五・六割）、残りの一億四千

五百八十八万二千円（四・二割）は、議会費や組合費などです。一方、歳入のうち主なものは、分担金及び負担金が三十億七百七十二万八千八百八十二円（八十二・三割）で、三市五町で分担されます。使用料及び手数料は、二億三千二百九十四万八千八百八十二円（六・八割）で、その主なものは、し尿処理、塵芥処理手数料などです。残りの一億七千七百七十四万四千円（五割）は、前年度からの繰越金や国や県からの支出金などです。

フラワー探検隊派遣事業など 四千百三十七万九千円

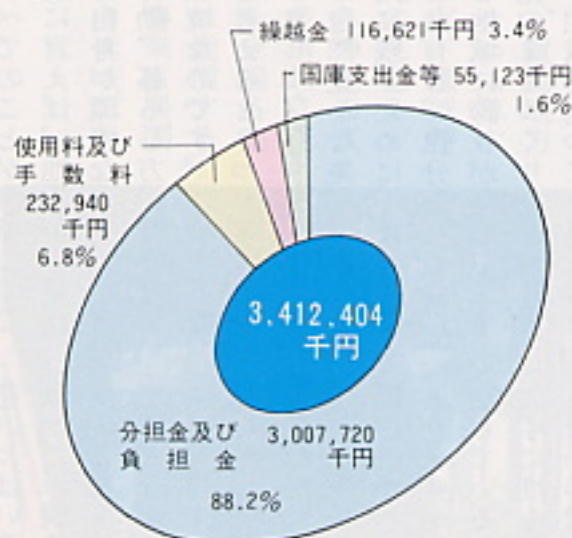
置賜広域ふるさと市町村園特別会計は、「置賜広域ふるさと市町村園広域活動計画」に基づき花と人材育成に係るソフト事業を実施するための予算で、今年度の総予算額は、四千百三十七万九千円です。前年度に比べ

は、財産収入である預金利子が三千百万円、前年度繰越金が一千二十七万九千円などです。

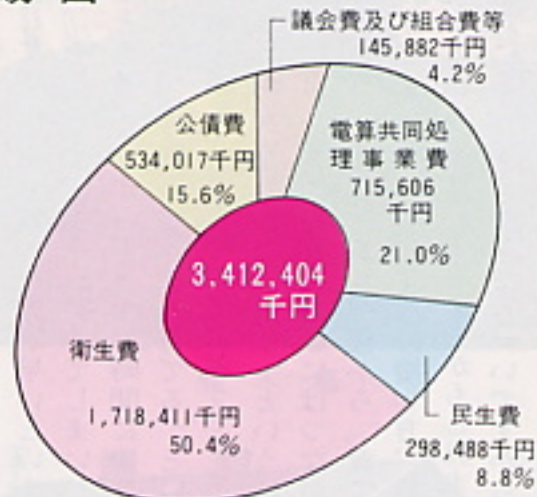
が、その主な要因として、この予算は県と置賜三市五町が十億円の基金を造成し、その果実（預金利子）で事業を実施しています。昨今の景気低迷により預金利率が低くなり、収入が減少したためです。

は、開花期（平成五〇四年度）、開花期（平成五〇九年度）、結実期（平成十一年度）からなっており、今年度は開花期の初年度です。さらに充実した内容の事業を展開し、花でいっぱい住みよい置賜の創造を目指します。

歳入



歳出



まず、歳出の主なものは、置賜の花を花でいっぱいにするための花の回廊整備事業や花のフェスティバルの開催等、花に関する事業費が一千七百九十五万二千円、また、地域づくりや花のまちづくりなどに意欲のある圏域内の青年を公募選定して国内外に派遣する人材育成事業が八百八十三万一千円などです。



平成4年度フラワー探検隊の研修の様子
(フランス：パリ市営園芸センター)

組合 ニュース

一粒のたねから 夢を育てて

去る二月十六日、川西町中央公民館において、岩手県岩泉町のドライフラワー工房「アトリエ野のはな」代表の坂本ゆり氏を招いて、「一粒のたねから夢を育てて」と題し、花を活用した美しい地域づくり講演会を開催しました。

坂本氏はムギワラギクで村おこし事業に成功し、全国的にご活躍されている方です。

この講演で、坂本氏は「まちおこしとか地域づくりには、風の人と土の人の必要です。風の人というのは、いわゆるよそ者



花を活用した美しい地域づくり講演会

で、土の人というのは地元の人です。これらがうまくかみあうとすばらしい風土が生まれます」また、最後に「私は、花で町を明るくしたい、その中で楽しく生きたいと求めました。厳しい言葉ですが求めていない人には与えられないんです。知らず知らず何とかなしたいと思ったから、今このようにできたのだと思います。幸運は準備された人にか来ないんです」と結ばれました。

会場には約百五十人の参加者が詰めかけ、熱心に聞き入っていました。

花づくりは 土づくりから

置賜地域を花のある美しい地域にするため、置賜広域ふるさと市町村圏広域活動計画「花の北斗七星事業」の一環として花づくり講習会を開催しました。

この講習会は、平成二年度から実施しているもので、今年度は「国体後の花や花壇の管理」と題して、講師に山形県立置賜農業高等学校講師の白石恒雄氏を招いて、白鷹町、高畠町、米沢市の三か所で開催しました。この講習会では、花を育てる

には土と肥料が大事であるということから具体的な土づくりの方法と肥料のやり方を中心に学びました。

各会場とも定員をオーバーする参加者があり大盛況でした。国体後も花のある美しい地域にするためがんばりましょう。

全国各地の地域づくり を調査してきました



地域づくり調査隊事後研修

この事業は「花の北斗七星事業」の中の人材育成事業の一環として実施したものです。

平成四年度は十名の隊員たちが、それぞれのテーマで全国各地の地域づくりの先進地を視察・研修してきました。

その成果を去る二月二十三日から二十四日にかけての事後研修会で発表しました。また今後の活動や置賜の将来についても熱心な討論がかわされました。

今後、隊員たちはそれぞれの地域で地域づくりの仕掛人として活躍が期待されます。

浅川最終処分場 が完成



浅川最終処分場

平成三年度から国の補助を受けて、建設工事が進められていた置賜広域行政事務組合千代田清掃事業所浅川最終処分場がこのほど完成し、今年度から埋め立て処理が開始されます。

この処分場は埋め立て容量が二十三万四千百㎡で、埋立て地はすべてゴムシートでしゃ水さされています。処分場からの浸出水は八十五㎡/日の処理設備により処理されます。

この処分場は、向こう約十三年間の埋め立てが可能ですが、ごみの発生量が少なければ少ないほど処分場は長持ちし、財政負担も少なくなります。

ごみの減量化とリサイクルを推進し、快適で地球にやさしい環境をつくりましょう。

三月定例会を開会

本組合三月定例会が、三月二十六日に開かれました。

この議会では、土曜閉庁に係る条例の一部改正や手数料等の徴収に関する条例の一部改正、平成五年度一般会計予算など議案八件が審議され、原案どおり可決されました。

四月から土曜日が 休みにになりました

本組合は、四月から完全土曜閉庁になりました。

このため、米沢クリーンセンター、長井清掃事業所、南陽クリーンセンター、千代田清掃事業所並びに小国清掃事業所のし尿部門の受付業務も休みにになります。

し尿処理手数料が 変わります

六月一日から現行の10ℓ当たり65円から10ℓ当たり80円に改正されます。



4月

10 赤湯温泉桜まつり (南陽市 烏帽子山公園)

17 全国俳句大会 (烏帽子山公園)

18 レンタサイクルオープン グフェステイバル (高島町 太陽館周辺)

19 1993年第3回女子ハンク グライディング世界選手権 (南陽市 スカイパークエリア)

22 県立考古資料館開館記念式典 (高島町 歴史公園)

25 夕鶴の里全施設オープンイベント (南陽市夕鶴の里)

29 緑の日記念植樹 (高島町 文化ホール)

29 上杉まつり (米沢市 松ヶ岬公園)

米沢民踊流し (市内目抜き通り)

武禱式 (松ヶ岬公園)

上杉甲冑行列 (市内目抜き通り)

川中島の合戦 (松川河川敷)

5月

1 桜まつり (長井市 伊佐沢久保の桜)

1 石楠花まつり (小国町 横根スキー場特設会場)

3 春の童話まつり (高島町 ひろすけ記念館)

3 やな開きまつり (白鷹町 やな公園)

5 熊まつり (小国町 川入荘 広場)

8 浜田広介生誕100年記念講演 (高島町)

8 白つつじまつり (長井市 白つつじ公園)

22 第15回全国白つつじマラソン大会 (白つつじ公園)

9 全国白川ダム湖畔マラソン大会 (飯豊町 白川ダム湖岸公園)

13 白鷹山虚空蔵尊祭礼 (白鷹町 白鷹山山頂)

5 ばらまつり (南陽市 双松公園)

7 おぐに大自然祭 (小国町 おぐに観光わらび園)

14 朝日連峰夏山開き (白鷹町 鳥原山頂)

6月

中 観光さくらんぼ園オープン (南陽市 市内各所)

12 あやめまつり (長井市 あやめ公園)

20 サンシャイン・トライアル (白鷹町 白鷹スキー場)

小 小野川温泉ほたるまつり (米沢市 小野川温泉)

4 いいで黒べこまつり (飯豊町 どんでん平ゆり園)

上 飯豊連峰山開き (飯豊町)

10 フリークライミング ジャパンツアー第4戦 (飯豊町 スポーツセンター)

24 熊野大社例大祭 (南陽市 熊野大社)

29 たかは肉牛まつり (高島町)

30 東北花火大会 (米沢市 松川河川敷)

30 ダリヤ園オープン (川西町 ダリヤ園)

31 ふるさと森林公園夏まつり (白鷹町 ふるさと森林公園)

下 SNOWえつくフェステ

7月

1 愛宕の火祭り (米沢市 愛宕山)

1 アジア国際音楽祭 in しらか (白鷹町 ふるさと森林公園)

上 米沢牛肉まつり (米沢市 松川河川敷)

上 観光ぶどう園オープン (南陽市 市内観光ぶどう園)

19 やまがた林間学校 (小国町 飯豊山荘周辺)

21 '93 ワインフェスティバル in 南陽 (南陽市 赤湯観光ぶどう園内)

8月

伊 飯豊町 白川ダム湖岸公園

中 観光さくらんぼ園オープン (南陽市 市内各所)

12 あやめまつり (長井市 あやめ公園)

20 サンシャイン・トライアル (白鷹町 白鷹スキー場)

小 小野川温泉ほたるまつり (米沢市 小野川温泉)

4 いいで黒べこまつり (飯豊町 どんでん平ゆり園)

上 飯豊連峰山開き (飯豊町)

10 フリークライミング ジャパンツアー第4戦 (飯豊町 スポーツセンター)

24 熊野大社例大祭 (南陽市 熊野大社)

29 たかは肉牛まつり (高島町)

30 東北花火大会 (米沢市 松川河川敷)

30 ダリヤ園オープン (川西町 ダリヤ園)

31 ふるさと森林公園夏まつり (白鷹町 ふるさと森林公園)

下 SNOWえつくフェステ

伊 飯豊町 白川ダム湖岸公園

人事異動

(係長級以上及び新規採用者)

(事務局)

総務課長 (米沢市生活環境課長 補佐) 玉虫利美▽総務課施設整備係長 (千代田清掃事業所施設第一係長) 後藤茂▽小松薫 (新採)▽鈴木淳志 (同)▽斎藤淳一郎 (同)▽我妻麻里子 (同)

(米沢クリーンセンター)

庶務係長 (米沢市水道部業務課 庶務係長) 山本卯▽施設係長 (米沢クリーンセンター主査) 山崎和夫

(長井清掃事業所)

庶務係長 (千代田清掃事業所庶務係長) 笹敏和▽手塚寛幸 (新採)

(南陽クリーンセンター)

所長 (南陽市下水道課長補佐) 長谷川実▽業務係長 (南陽クリーンセンター主査) 渡部文武▽志田堅史 (新採)

(南陽やすらぎ荘)

猪飼陽子 (新採)

(千代田清掃事業所)

所長補佐兼庶務係長 (千代田清掃事業所所長補佐) 土屋武好▽施設第一係長 (千代田清掃事業所施設第二係長) 滝克秀▽施設第二係長 (千代田清掃事業所主査) 佐藤俊品▽遠田真 (新採)▽加藤芳洋 (同)▽金田輝美 (同)

(米沢市)

水道部業務課長 (事務局総務課長) 高橋四郎▽市民部環境保護課公害対策係長 (米沢クリーンセンター施設係長) 佐藤武好

(南陽市)

商工観光課商工観光主幹 (南陽市クリーンセンター所長) 高橋信隆

(退職)

孫田武 (長井清掃事業所所長補佐)▽高野二彦 (南陽クリーンセンター業務係長)▽相馬喜一 (長井清掃事業所)▽遠藤忠 (千代田清掃事業所)